

講座 21	人間学再論—今あらためて人-間を考える			オンライン併用
	【会場定員】72名【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円			
『歴史・文学・人間学』人間学 【時間】 毎回 13時00分～14時30分（計12回）				
概要	和辻哲郎は、人は「間」をもつことによって人間たりうると、人間を「間柄（あいだがら）存在」と規定した。その「間」は、人と人との間のみならず、人と人を超えたものとの間でもある。ここでは、そうした「人-間」存在の多様・多彩なありようをさまざまなジャンルから論じてもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名 (敬称略)
1	10/5(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	現代日本人の死生観のゆくえ	日本女子大学准教授 伊藤由希子
2	10/12(木)		日本の伝統思想と自然①	哲学者 内山 節
3	10/19(木)		日本の伝統思想と自然②	
4	10/26(木)		データサイエンスとAIと人間	元慶応義塾大学教授 高橋武則
5	11/2(木)		ヒトから考える人間	JT生命誌研究館名誉館長 中村桂子
6	11/9(木)		人間の歩き方を考える	ファッション&ライフコーディネーター 宇佐美恵子
7	11/16(木)		役人の人間学——昭和から令和まで	元内閣府審議官 前川 守
8	12/7(木)		タテマエとホンネの間に	元読売新聞「編集手帳」担当論説委員 秋岡伸彦
9	12/14(木)		たくさんの出会いから考えたこと	作家 椎名誠
10	1/18(木)		人間が人間を演じることの不思議	映画監督 伊藤俊也
11	1/25(木)		物語の中の「本当さ」 ——ポスト・トゥルース時代における書くことと読むことの倫理	國學院大学講師 長谷川徹
12	2/1(木)		やまと言葉で読み解く日本人の心のかたち	(公財)古代オリエント博物館館長 月本昭男

*10/2時点、第1回・第12回講師が変更となりました。

*11/14時点、11/30(第8回)が保坂先生の都合により休講となりました。11/30分が1/25に補講とし学習内容・講師が変更となります。

第12回が2/1に変更となります。